

平成30年度 病虫害発生予察情報(美濃地域) 7月予報

【 水稲 】

いもち病(葉いもち)

BLASTAM(アメダスデータを用いたいもち病感染好適条件の判定システム)によると、6月上旬以降、感染好適日が確認されています(表1参照)。感染好適日に病原菌が感染すると、おおよそ5~10日後に発病します。ほ場での発生状況に十分注意してください。

【 果樹 】

果樹カメムシ類 * 病虫害発生予察注意報第1号(H30.5.31付)発表

岐阜・西濃及び中濃地域に設置した予察灯への累計誘殺数は、依然として平年より多く推移しています。特に、温度及び湿度が高く、風のない夜は、活発に活動する傾向があります。今後の気象情報には十分注意し、飛来が認められる場合は直ちに防除を実施してください。

【 野菜 】

トマト 灰色かび病

6月下旬の調査では葉先枯れは確認されました。降雨や曇天が続くと、葉先枯れや花ガラ、ガク枯れなどの枯死部から本病は発生し、ハウス内に蔓延します。これらの部位をこまめに除去してください。

○主な病虫害の発生時期及び防除時期(7月)

	病虫害名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項	
			1旬	2旬	3旬	4旬	5旬	6旬		
水稲	生育(コシヒカリ)	やや遅				<幼穂形成始期>			・6/13 調査(5/10 田植:農業技術センター)	
	葉いもち	やや少				<発生最盛期>			・ 葉いもち 箱施薬を実施していないほ場では発生初期に本田防除を実施する。	
	紋枯病	やや少			<初発生>				・ 紋枯病 前年度に多発したほ場では、初発生を確認したら薬剤防除を実施する。	
	縞葉枯病	少				<発生最盛期>			・ 縞葉枯病 感受性品種では特に注意する。	
	ヒメトビウンカ	やや多	<第2世代幼虫>		<第2世代成虫>				・ ヒメトビウンカ 発生初期の防除を徹底する。	
	セジロウンカ	並					<第1世代幼虫>		・ セジロウンカ 発生初期の防除を徹底する。	
	斑点米カメムシ類	やや多						<本田侵入時期>	・ 斑点米カメムシ類 粒剤による防除は施用時期に注意する。	
	防除適期								斑点米カメムシ類:穂ぞろい期およびその7~10日後に防除を実施する。	
かき	生育(ハツシモ)								・田植え 6/11(農業技術センター)	
	ハマキムシ類	やや多	第2世代幼虫>		<第2世代成虫>				・幼虫発生初期の防除を徹底する。	
なし	防除適期								・ ハマキムシ類 発生最盛期から7~10日後の防除を徹底する。	
	黒星病	やや多							・同一系統薬剤の連用は避ける(薬剤耐性菌の出現)。	
もも	防除適期								・ 黒星病	
	ナシヒメシンクイ	並	<第2世代幼虫>						・心折れ枝は見つけ次第剪定し除去する。	
茶	防除適期								・農薬の使用時期に注意する。	
	生育(やぶきた:池田)	並								
	岐阜	ハマキムシ類	多	<第2世代幼虫>						・ ハマキムシ類 発生最盛期から7~10日後の防除を徹底する。
	西濃	チャノホソガ	多			<第2世代成虫>				・ チャノホソガ 発生最盛期と萌芽~展葉期が合致すると被害が発生するため、発生最盛期から10日後に防除を実施する。
	防除適期								・ ハマキムシ類 チャノホソガ	
	生育(やぶきた:白川)	早	二番茶>							
中濃	ハマキムシ類	やや少				<第2世代幼虫>				
	チャノホソガ	多					<第2世代成虫>			
防除適期									・ ハマキムシ類 チャノホソガ	

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1 旬	2 旬	3 旬	4 旬	5 旬	6 旬	
果 樹	カメムシ類	多	< 越冬世代・新世代成虫 >						・夜間の温度や湿度が高い場合は、突発的にほ場へ飛来するため注意する。
	防除適期								
野 菜 ・ 花 き	灰色かび病	並				<発生最盛期>			・同一系統薬剤の連用は避ける（薬剤耐性および抵抗性の発達）。 ・ <u>灰色かび病</u> 葉先枯れ等の枯死部位は発生源となるため取り除く。 ・ <u>ハスモンヨトウ</u> 発生初期の防除に努める。 ・ <u>ハバコガ</u> 類 若齢幼虫期の防除を徹底する。
	アザミウマ類	やや少							
	ハスモンヨトウ	並							
	タバコガ類	やや少							
	ハダニ類	やや少							
	防除適期		～ ▲灰色かび病						

注1) ▲、▲～▲：防除適期

注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

いもち病（葉いもち）

BLASTAM（アメダスデータを用いたいもち病感染好適条件の判定システム）
によるいもち病の発生条件

表1 2018年6月BLASTAMによるいもち病の発病条件 病害虫防除所

日付	岐阜	大垣	愛西 海津	関ヶ 原	揖斐 川	樽見 根尾	美濃	八幡	長滝 白鳥	美濃 加茂	黒川 白川	多治 見	中津 川	恵那
6/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/6	●	●	●	●	●	△	●	△	△	●	△	●	●	●
6/7	●	●	●	●	-	-	●	△	-	●	△	●	●	●
6/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	●	-	●	●	-	-	◎	◎	-	△	●	-	-	-
6/12	-	-	-	-	-	●	-	-	●	-	●	●	●	●
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/16	-	-	●	-	-	-	◎	◎	△	●	△	◎	-	-
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎	-	◎
6/21	●	●	-	-	●	△	●	-	△	●	△	●	△	●
6/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



いもち病（葉いもち）

凡例

- △：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は20℃未満）
- ▲：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は25℃以上）
- ：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、湿潤時間の平均気温は15～25℃の範囲外）
- ◎：準好適条件（湿潤時間が湿潤時間中の1平均気温ごとの必要な時間より短い）
- ：好適条件（湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の日平均気温の平均値が20～25℃の範囲にある）
- ：好適条件、準好適条件は満たされなかった。
- 空欄：欠測値があるため判定不可能

※感染好適条件が現れると感染し、潜伏期間（おおよそ5～10日）を経て発病します。
※下のアドレスにBLASTAMデータを掲載していますので、ご活用ください。

http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/index_12143.html

6月～8月は「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用・保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

東海地方1カ月予報（名古屋地方气象台 6月28日発表）

向こう1カ月の気温は平年より高く、降水量は少なく、日照時間は多いと予想されます。
期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>
〒501-1152 岐阜市又丸729 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767